

ミュージアム連携ワークショップ

カホネレ

身近なもので楽器を作ろう!

入間市博物館ALIT×三友周太(SYUTA)さん(アーティスト・SMF正会員)

2022年3月27日(日) @入間市博物館ALIT <https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>



これから、どんなことが起きるのかな!



◆段ボール、ヒモ、ビーズ…どんなものが出来るんだろう?

今日は身近なもので楽器作り。入間市でも活躍している三友周太さんと、5人の参加者、付き添いやスタッフ数名で、距離を保ちつつも賑やかな雰囲気の中でワークショップが始まりました。自分の名前をペンで書く時点で、色や書き方にこだわって…これは、いろんな工夫が見られそうなメンバーです。

木材が張り付けてある段ボールが配られて、完成したのを見ながら今日の流れについて説明を聞きます。穴をあけたり、ひもを通したり、なんだか少し複雑そう。でも大丈夫、みんなで1つずつ、ゆっくり進めましょう!

手伝ってもらいつつ、自分でも挑戦しつつ…

◆少し難しい…だからこそ「自分でやりたい!」

段ボールの中央に丸い穴をあける工程は、音が響くために大事なことだそうです。カッターを使ったり、切込みを入れてからハサミを使おうとしたり。大人の手も借りながら、やっと穴が開きました。そこに、カラフルで太さの違うヒモが3本と、ビーズが配られました。ビーズにヒモを通し、抜けないように結んで、それを更に段ボールについている木材の穴に…これはなかなか難しい!

針金を使って糸通しにすることも教わりながら、ここでも大人が手伝ってくれる、けれど、ちょっと手を出さないで!「いっここでもいいから、じぶんでやりたいんだよ!」とてもいい言葉が響き渡りました。



春の絵を描いています!



◆デコっていいよ! 自分だけの作品に!

ひもを固定したら、叩けばカホン、弾けばウクレレの「カホネレ」が完成です。三友さんオリジナルというこの楽器、中に鈴が入っているので、叩く、振る、弾くたびに、いろいろな音がします。

残りの時間、ペンやマスキングテープで自由に飾って、自分だけのカホネレに仕上げていきます。動物が踊るカホネレ、キラッと輝くラインが施されたカホネレ、音符が踊るカホネレ、四季が描かれたカホネレ、ガムテープを使った元気な模様がはじけるカホネレ、それぞれのカホネレが完成しました!

それぞれのカホネレが完成!

◆一人ずつ演奏してみよう!

最後は一人一人の演奏を三友さんが録音。教室の前の椅子で鳴らす人もいれば、自分のテーブルで、床に座って、こっそり隠れて。それぞれのスタイルで、それぞれの音を鳴らしました。今回録音した音を素材に、いずれ楽曲を制作するかも、とのこと。楽しみです。

参加者からは、組み立て、デコレーション、演奏などの様々な工程について、みんなと出来て楽しかったとの感想があがりました。

なかなか人々が集って思いっきり遊べる状況にはなりません、そのような中でも工夫して開催された今回のワークショップは、みんなで創る、みんなで奏でる楽しさが溢れるワークショップとなりました。

自分なりのスタイルで演奏、ちょっと緊張。

